

監査委員会研究報告第6号

銀行等取引残高確認書及び証券取引残高確認書の様式例

(平成9年1月16日)

(日本公認会計士協会)

1. はじめに

銀行等取引残高確認書及び証券取引残高確認書の様式例については、監査第一委員会研究報告第1号「監査マニュアル」の「6020 確認」に示されており、会員が銀行等取引及び証券取引の残高確認を行うに際しては、当該様式例を参考にしてきたものと思われる。同研究報告は、昭和60年9月に公表された後、部分的に見直しが行われているが、これらの残高確認書の様式例については、その後の金融・証券等を中心とする経済状況の大きな変化並びに金融取引の拡大にもかかわらず、見直しがなされていない。このため、最近活発に利用されてきている各種金融商品の残高確認には十分に対応できない状況となっている。さらに、平成8年7月の財務諸表等規則の一部改正により、平成10年3月1日以後終了する事業年度から、デリバティブ取引についての時価及び評価損益相当額を注記することとされた。この場合、市場取引以外の取引については、当面、当該デリバティブ取引にかかる契約を約定した金融機関又は証券会社等から当該取引について提示された価格等に基づいて算定することができるものとされている（同取扱要領24の24）。このため、市場取引以外のデリバティブ取引についての時価等に関する情報の入手が必要となった。

そこで、当委員会は、「監査マニュアル」の「6020 確認」を検討した結果、銀行等取引残高確認書及び証券取引残高確認書の様式例と留意事項を、新たな研究報告として公表することとした。

この見直しにより、「監査マニュアル」の「6020 確認」に対し、主に、次の項目の追加又は変更を行った。

既に一般に行われている「特定金銭信託及び指定金外信託（ファンドトラスト）の信託元本残高」「外国為替の取立外国為替・その他の残高」「デリバティブ取引の契約額等」を各様式に追加した。なお、「特定金銭信託及び指定金外信託（ファンドトラスト）の信託元本残高」及び「デリバティブ取引の契約額等」では、時価開示及び監査上のリスクを考慮して時価又は評価損益を確認対象とした。

証券取引残高確認書の様式例では、取引の実態を考慮して「金銭残高」を「取引残高（顧客勘定元帳残高）」と変更した。

なお、この様式は、主として、現在、一般に行われている銀行等取引・証券取引を対象としている。また、外資系の金融機関等においては、銀行業と証券業とを兼業している場合があるが、この場合には確認先の業務内容を把握・検討して、両様式例の確認項目を適宜、加除して使用する必要がある。例えば、証券会社が特定金銭信託を取り扱っている場合には、証券取引残高確認書の確認項目に特定金銭信託の項目を追加するなどの手当てが必要となる。

2. 銀行等取引残高確認書の様式例

〒□□□ - □□

御中

No .

平成 年 月 日

(住 所)

(会社名)

(届出名)

印

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般、当社の会計監査に当たり、_____事務所は、平成 年 月 日現在（確認基準日）における当社の貴社に対する取引残高等の確認を望んでおります。

つきましては、下記事項に関しご記入ご証明の上、一通を同封の返信用封筒にて、直接、_____事務所宛平成 年 月 日までにご返送くださいますよう、お願い申し上げます。ご記入に当たっては、確認書末尾の「ご記入上の注意」をご参照ください。

なお、当座勘定照合表(平成 年 月 日から平成 年 月 日まで)の同封をお願い申し上げます。

敬 具

確 認 書

_____事務所 御中

平成 年 月 日

銀 行 名 _____ 印

責任者名 _____ 印

当行と _____との平成 年 月 日現在における取引残高、契約内容等は、下記のとおりであることを証明いたします。

記

1. 預金等残高(外貨預金及び金取引等を含む)

種類	金額	種類	金額
当座預金	円	貸付信託	円
普通預金		別段預金	
通知預金		定期積金	
定期預金			
金銭信託			

上記のうち、担保差入その他引出制限のある預金等の種類_____金額_____円

2. 特定金銭信託及び指定金外信託(ファンドトラスト)の信託元本残高

種類	契約番号	元本残高	担保差入、引出 制限の有無	直近信託決算日	同日の時価
		円	有・無		
			有・無		

上記の信託資産にデリバティブ取引残高が含まれる場合、その概要及び時価

3. 現先取引残高

銘柄	数量	当行の売買の別	約定日	受渡日		単 価		金 額	
				スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
		売・買				円	円	円	円
		売・買							

4. 貸付金残高及び当座貸越残高

種類	金額	貸付日	返済期日	利率	最終利払日	担保物件又は保証人
	円			%		

5. 割引手形残高

枚数	金額	担保物件又は保証人
	円	

6. 取立依頼手形残高(輸出手形を含む)

7. 担保として預かっている手形残高

8. 支払承諾見返勘定

(1) 支払保証残高(当行が会社の債務などについて保証している残高)

種類	金額	担保物件又は保証人
	円	

(2) 信用状未使用残高 _____

(3) その他 _____

9. 債務保証の受入残高(当行の取引先に対する会社の支払保証などの残高)

債務者名	金額	保証期間	区分
	円		債務保証・債務保証予約
			債務保証・債務保証予約

10. 外国為替残高

(1)買入外国為替 _____
(うち信用状なし) _____

(2)取立外国為替 _____

(3)その他 _____

11. 貸付有価証券残高

種類	銘柄	数量(又は券面額)	消費貸借・使用貸借の別
			消費貸借・使用貸借
			消費貸借・使用貸借

12. デリバティブ取引の契約額等

(1) 市場取引

先物取引残高

取引市場	取扱商品	限月	売付・買付の別	約定日	約定価格	建玉(枚数)	契約額	確認基準日の時価
			売付・買付		円		円	円
			売付・買付					

オプション取引残高

取引市場	取扱商品	限月	コール・プットの別	売付・買付の別	権利行使価格(為替相場・利率等)	約定価格	建玉(枚数)	契約額	確認基準日の時価
			コール・プット	売付・買付		円		円	円
			コール・プット	売付・買付					

上記にかかる受入証拠金残高 _____

(2) 市場取引以外の取引

先渡取引(金利先渡取引・為替先渡取引)残高

種類	約定日	契約期間		通貨種類	当行の売買の別	想定元本	約定利率	決済利率	確認基準日の時価
		スタート	エンド						
					売・買	円	%	%	円
					売・買				

為替予約取引残高

通貨種類	約定日	予約期限	契約額	予約為替相場	当行の売買の別	確認基準日の時価
			円		売・買	円
					売・買	

オプション取引残高

貨種	約定日	行使期限	通貨種類	コール・プットの別	当行売買の別	契約額(想定元本)	権利行使価格(為替相場・利率等)	オプション料	オプション料の決済日	確認基準日の時価
				コール・プット	売・買	円		円		円
				コール・プット	売・買					

スワップ取引残高

ア 通貨スワップ

種類	約定日	契約期間		当行の受取り残高	当行の支払い残高	確認基準日の含み損益
		スタート	エンド			
				円	円	円

イ 金利スワップ

種類	約定日	契約期間		利息受渡日	(想定)元本	当行の受取り		当行の支払い		確認基準日の含み損益
		スタート	エンド			通貨種類	利率	通貨種類	利率	
							%		%	円

その他のデリバティブ取引残高(上記 ~ に類似する取引又は複合取引)

種類	約定日	取引の概要	契約額・想定元本	確認基準日の時価
			円	円

13. その他

ご記入上の注意

上記記入欄に詳細を書ききれない場合は、別紙に記入の上、添付してください。

該当のない箇所については、該当のない旨明示してください。

外貨建については、当該通貨にて記入してください。

貴営業店を窓口として、貴行本部にて記帳されている取引(他の代表者又は代理人の名義による取引を含む。)等についても回答してください。

貴行と会社(他の代表者又は代理人の名義による取引を含む。)との間において、上記以外に、現在、会社に対して有する請求権、将来、会社の負担が生じる可能性を有する契約等がある場合には、その内容について「13 その他」の箇所に記入してください。

以 上

3. 証券取引残高確認書の様式例

〒□□□ - □□
_____ 御中

NO. _____
 平成 年 月 日
 (住 所) _____
 (会社名) _____
 (届出名) _____ 印

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般、当社の会計監査に当たり、_____事務所は、平成 年 月 日現在 (確認基準日)に

おける当社の貴社に対する取引残高等の確認を望んでおります。
つきましては、下記事項に関しご記入ご証明の上、一通を同封の返信用封筒にて、直接、
____事務所宛平成 年 月 日までにご返送くださいますよう、お願い申し上げます。ご記入に当たっては、確認書末尾の「ご記入上の注意」をご参照ください。

敬 具

確 認 書

平成 年 月 日

____事務所 御中

証券会社____印
責任者名____印

当行と____との平成 年 月 日現在における取引残高、契約内容等は、下記のとおりであることを証明いたします。

記

1. 取引残高(顧客勘定元帳残高)

勘 定 名	金 額	摘 要
立 替 金	円	
預 り 金		
信 用 取 引 保 証 金		
発 行 日 取 引 保 証 金		
債 券 先 物 取 引 証 拠 金		
株 式 先 物 取 引 証 拠 金		
オ プ シ ョ ン 取 引 証 拠 金		
そ の 他		

2. 預り有価証券等

種類	銘柄	数量	区分	摘要

3. 現先取引残高

銘柄	数 量	当社の売 買の別	約定日	受渡日		単 価		金 額	
				スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
		売・買							
		売・買							

4. 貸付・借入有価証券残高

会社に対する貸付・借入の別	銘柄	数量	摘要
貸付・借入			
貸付・借入			

5. 信用取引・発行日取引建玉残高

信用取引・発行日取引の別	約定日	銘柄	会社の売買の別	数量	単価	金額	確認基準日の時価
信用・発行日			売・買		円	円	円
信用・発行日			売・買				

6. デリバティブ取引の契約額等

(1) 市場取引

先物取引残高

取引市場	取扱商品	限月	売付・買付の別	約定日	約定価格	建玉(枚数)	契約額	確認基準日の時価
			売付・買付		円		円	円
			売付・買付					

オプション取引残高

取引市場	取扱商品	限月	コール・プットの別	売付・買付の別	権利行使価格(為替相場・利率等)	約定価格	建玉(枚数)	契約額	確認基準日の時価
			コール・プット	売付・買付		円		円	円
			コール・プット	売付・買付					

(2) 市場取引以外の取引

先渡取引(金利先渡取引・為替先渡取引)残高

種類	約定日	契約期間		通貨種類	当社の売買の別	想定元本	約定利率	決済利率	確認基準日の時価
		スタート	エンド						
					売・買	円	%	%	円
					売・買				

為替予約取引残高

通貨種類	約定日	予約期限	契約額	予約為替相場	当行の売買の別	確認基準日の時価
			円		売・買	円
					売・買	

オプション取引残高

種類	約定日	行使期限	通貨種類	コール・プットの別	当社売買の別	契約額(想定元本)	権利行使価格(為替相場・利率等)	オプション料	オプション料の決済日	確認基準日の時価
				コール・プット	売・買	円		円		円
				コール・プット	売・買					

スワップ取引残高

ア 通貨スワップ

種類	約定日	契約期間	当社の受取り残高	当社の支払い残高	確認基準日の含み損益
----	-----	------	----------	----------	------------

		スタート	エンド			
				円	円	円

イ 金利スワップ

種類	約定日	契約期間		利息受 渡日	(想定)元本	当社の受取り		当社の支払い		確認基準日の 含み損益
		スタート	エンド			通貨種類	利率	通貨種類	利率	
							%		%	円

その他のデリバティブ取引残高(上記 ～ に類似する取引又は複合取引)

種類	約定日	取引の概要	契約額・想定元本	確認基準日の時価
			円	円

7.その他

ご記入上の注意

上記記入欄に詳細を書ききれない場合は、別紙に記入の上、添付してください。

該当のない箇所については、該当のない旨明示してください。

預り有価証券等

種類欄は次の種類により、また、数量欄はそれぞれの種類ごとに次の単位により記入してください。

株式：1株、債券：千円、投信：1口、CP：億円、金：グラム

外貨建のものは当該外貨単位

区分欄には、保護、信用取引代用、発行日取引代用、債券先物取引代用、株式先物取引代用、オプション取引代用、その他、の区分を記入してください。

貴営業店を窓口として、貴社本部にて記帳されている取引（他の代表者又は代理人の名義による取引を含む。）等についても回答してください。

貴社と会社（他の代表者又は代理人の名義による取引を含む。）との間において、上記以外に、現在、会社に対して有する請求権、将来、会社の負担が生じる可能性を有する契約等がある場合には、その内容について「7.その他」の箇所に記入してください。

以 上

4 . 銀行等取引残高確認書の留意事項

（１）残高確認書の様式例に記載した銀行等取引の確認項目は、下記のとおりであるが、新たに金融商品が出現した場合、確認項目を適宜追加する必要がある。

なお、この様式は銀行への確認を前提にしているが、他の金融機関（信用金庫、信用組合等）に確認する場合は、「貴行」を「貴金庫」、「貴信組」等適当な名称に、「預金」を「貯金」に変更する必要がある。また、本店（本部）以外の営業店に対して確認する場

合には、宛名及び確認書の回答者名の箇所は、それぞれ当該営業店名とする。

預金等残高（種類、金額、担保差入その他引出制限のある預金等の種類及び金額）

特定金銭信託及び指定金外信託（ファンドトラスト）の信託元本残高（種類、契約番号、元本残高、担保差入・引出制限の有無、直近信託決算日、同日の時価、デリバティブ取引残高が含まれる場合の概要及び時価）

現先取引残高（銘柄、数量、銀行からみた売買の別、約定日、受渡日、単価、金額）

貸付金残高及び当座貸越残高（種類、金額、貸付日、返済期日、利率、最終利払日、担保物件又は保証人）

割引手形残高（枚数、金額、担保物件又は保証人）

取立依頼手形残高（輸出手形を含む。枚数、金額）

担保として預かっている手形残高（枚数、金額）

支払承諾見返勘定（支払保証残高（銀行が確認依頼会社の債務などについて保証している残高の種類、金額、担保物件又は保証人）、信用状未使用残高、その他）

債務保証の受入残高（銀行の取引先に対する確認依頼会社からの支払保証などの残高の債務者名、金額、保証期間、債務保証・債務保証予約の別）

外国為替残高（買入外国為替（うち信用状なし）、取立外国為替、その他）

貸付有価証券残高（種類、銘柄、数量又は券面額、消費貸借・使用貸借の別）

デリバティブ取引の契約額等

ア．市場取引

（ア）先物取引残高（取引市場、取扱商品、限月、売付・買付の別、約定日、約定価格、建玉、契約額、確認基準日の時価）

（イ）オプション取引残高（取引市場、取扱商品、限月、コール・プットの別、売付・買付の別、権利行使価格、約定価格、建玉、契約額、確認基準日の時価）

イ．市場取引以外の取引

（ア）先渡取引残高（種類、約定日、契約期間、通貨種類、銀行からみた売買の別、想定元本、約定利率、決済利率、確認基準日の時価）

（イ）為替予約取引残高（通貨種類、約定日、予約期限、契約額、予約為替相場、銀行からみた売買の別、確認基準日の時価）

（ウ）オプション取引残高（種類、約定日、行使期限、通貨種類、コール・プットの別、銀行からみた売買の別、契約額、権利行使価格、オプション料、オプション料の決済日、確認基準日の時価）

（エ）スワップ取引残高

）通貨スワップ（種類、約定日、契約期間、銀行の受取り残高、銀行の支払い残高、確認基準日の含み損益）

）金利スワップ（種類、約定日、契約期間、利息受渡日、（想定）元本、銀行の受取り、銀行の支払い、確認基準日の含み損益）

（オ）その他のデリバティブ取引残高（種類、約定日、取引の概要、契約額・想定元本、確認基準日の時価）

（２）当座預金口座については、期末日前後の当座勘定照合表の写しの添付を依頼することが望ましい。

（３）銀行に有価証券を保護預けしている場合には、証券取引残高確認書の「２．預り有価証券等」に準じて確認を行う。

(4) 残高確認依頼状には、確認依頼会社の記名及び届出印の押印が必要である。

(5) 特定金銭信託及び指定金外信託の確認項目は、契約番号別の元本残高及び直近信託決算日の時価である。したがって、信託資産の詳細な運用状況及び資産状況については、別途証憑書類等を入手して確かめる必要がある。証憑書類を直接的に入手するか間接的に入手するかは、監査上の危険性を考慮して決定する。

(6) 銀行等取引の確認項目は多数であるため、B 4、A 3、特殊サイズ又は複数枚によることになる。複数枚による場合又は銀行独自の様式が確認書に添付されている場合は、割印の依頼を「ご記入上の注意」に追加することが望ましい。また、複写式(うち、1枚は銀行控)とすることが望ましい。

5. 証券取引残高確認書の留意事項

(1) 残高確認書の様式例に記載した証券取引の確認項目は、下記のとおりであるが、新たに金融商品が出現した場合、確認項目を適宜追加する必要がある。

なお、本店(本部)以外の営業店に対して確認する場合には、宛名及び確認書の回答者名の箇所は、それぞれ当該営業店名とする。

取引残高(顧客勘定元帳残高。勘定名、金額、摘要)

預り有価証券等(種類、銘柄、数量、区分、摘要)

現先取引残高(銘柄、数量、証券会社からみた売買の別、約定日、受渡日、単価、金額)

貸付・借入有価証券(会社に対する貸付・借入の別、銘柄、数量、摘要)

信用取引・発行日取引建玉残高(信用取引・発行日取引の別、約定日、銘柄、確認依頼会社からみた売買の別、数量、単価、金額、確認基準日の時価)

デリバティブ取引の契約額等

ア. 市場取引

(ア) 先物取引残高(取引市場、取扱商品、限月、売付・買付の別、約定日、約定価格、建玉、契約額、確認基準日の時価)

(イ) オプション取引残高(取引市場、取扱商品、限月、コール・プットの別、売付・買付の別、権利行使価格、約定価格、建玉、契約額、確認基準日の時価)

イ. 市場取引以外の取引

(ア) 先渡取引残高(種類、約定日、契約期間、通貨種類、証券会社からみた売買の別、想定元本、約定利率、決済利率、確認基準日の時価)

(イ) 為替予約取引残高(通貨種類、約定日、予約期限、契約額、予約為替相場、証券会社からみた売買の別、確認基準日の時価)

(ウ) オプション取引残高(種類、約定日、行使期限、通貨種類、コール・プットの別、証券会社からみた売買の別、契約額、権利行使価格、オプション料、オプション料の決済日、確認基準日の時価)

(エ) スワップ取引残高

通貨スワップ(種類、約定日、契約期間、証券会社の受取り残高、証券会社の支払い残高、確認基準日の含み損益)

金利スワップ(種類、約定日、契約期間、利息受渡日、(想定)元本、証券会社の受取り、証券会社の支払い、確認基準日の含み損益)

(オ) その他のデリバティブ取引残高(種類、約定日、取引の概要、契約額・想定元本、確認基準日の時価)

上記以外に特定金銭信託及び指定金外信託（ファンドトラスト）等の取引を行っている場合には、銀行等取引残高確認書の確認項目を参照して追加する必要がある。

（２）残高確認依頼状には、確認依頼会社の記名及び届出印の押印が必要である。

（３）証券取引の確認項目は多数であるため、Ｂ４、Ａ３、特殊サイズ又は複数枚によることになる。複数枚による場合又は証券会社独自の様式が確認書に添付されている場合は、割印の依頼を「ご記入上の注意」に追加することが望ましい。また、複写式（うち、１枚は証券会社控）とすることが望ましい。

以 上